
幼馴染 クリスマス・イブ 前編

梓月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幼馴染 クリスマス・イブ 前編

【Nコード】

N3518P

【作者名】

梓月

【あらすじ】

クリスマス・イブに遊園地にきた二人の話です。

「ねえ、今月の14日、予定ある？」

友達の美紅が聞いてきた。明後日は12月14日
クリスマス・イブである。

「ごめんね、輝と遊びに行くの」

琴音には、まえだひかる前田輝という

幼馴染であり、恋人でもある男の子がいる。

その輝が、遊びに連れて行ってくれる。

どこかは教えてもらっていない。お楽しみ、ということだ。

「旦那さんとはうまくいつているようで！」

「ちーがーうー！」

そんな会話が続いた。

そして24日、クリスマスイブが来た。

南山駅に朝9時に待ち合わせ。遅れないように

朝6時に起きた。普段でも

そのままでかわいい琴音だが、今日は髪を巻いて、
ほんの少しメイクもした。

「ごめん、待った？」

「今、来たばっか」

二人は10分前に駅に着いた。

琴音を見た輝は真っ赤になった。

これ以上かわいい琴音を見たことがなかったからだ。

「ねえ、どこ行くの？」

「正解は・・・三河遊園地でしたー！」

「三河遊園地！」

三河遊園地はとにかく大きい遊園地で
今話題になっている。少し高い

入場券をわざわざ二つも買っておいて

くれたのだ。

「ありがとー！」

うれしそうになっことと笑った。

「早く行こうぜ」

電車に乗り込んだ。

「すごい！！」

中は乗り物だらけだった。どれもおもしろそう
で乗ってみたい琴音は思った。

「琴音はどれから乗りたい？」

「やっぱりジェットコースター」

長い行列に並んだ。ようやく順番が回ってきた。

ジェットコースターに乗り込む。いっきに輝の顔が
青ざめる。実は輝はジェットコースターが

苦手で、小二以来、乗っていないのだ。

降りたとき、輝はフラフラになっていた。

「ごめんね、輝がジェットコースター苦手なの

知らなくて・・・」

「じゃあ、次は俺の行きたいやつでいい？」

輝が指さしたところはお化け屋敷。

「やだ、それだけはやだ！」

「別にいいだろー。おれだって我慢してたんだし」

琴音はお化けだの幽霊だのが大の苦手だった。

それを知っているから輝は意地悪をしているのだ。

「はい、レッツゴー」

輝は琴音の背中を押して、お化け屋敷に向かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3518p/>

幼馴染 クリスマス・イブ 前編

2010年12月10日20時06分発行